



令和7年度 ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト

読書活動支援者育成事業 会津地区研修会

日時 令和7年7月16日(水) 13:20~16:20
会場 北会津公民館 参加者 40名



☆講話☆ 「震災を経た南相馬市の魅力ある図書館づくり」

南相馬市立中央図書館 司書 菊地 伸江 氏

○ 講話

- 本を「選んで」「分けて」「並べて」「手に取ってもらう」ための工夫。
- レイアウトは柔軟に、いじりやすく。利用者が「目的意識」をもって図書館を利用することができる本の配置を意識している。
- 請求記号（どこに並べるか）に限らず、利用者目線に立ってコーナーを作っている。
- 「図書館員は資料を知ることにも努める」をモットーに選書を行っている。
- 震災当日から3/16まで図書館は臨時避難所として開設、8月まで臨時休館となった。地元書店の協力のもと、震災資料の収集を継続的に行い、郷土コーナーを設置している。



【 菊地 伸江 氏 】

★ 参加者から

- 本をどこに配架するのか、どうしてもNDC順にしてしまいましたが、ガイド本や本によって配架を変えても良いのだと気持ちが楽になりました。利用者の皆さんを第一に考えた姿に見習うべきことがたくさんありました。
- 写真と具体的説明でとても分かりやすく工夫されているのがわかりました。東日本大震災後、図書館運営が大変だったことだろうと想像いたしました。

☆講義・演習☆ 「絵本読み聞かせ実践講座」

南相馬市立中央図書館 司書 絵本専門士 JPIC 読書アドバイザー
佐藤 真紀 氏

○ 講義・演習

【絵本を選ぶポイント】

- ① 絵だけを見て最後まで読む。
絵だけでストーリーが分かるか、魅力的な絵か
- ② 次に文章を読む
絵に対する文章量が適切か
- ③ 声に出して読んでみる。
心地よい日本語のリズムか

【ペアによる読み聞かせ演習】

- 5色の付箋を使って、読み手が絵本を読み込む。
(赤⇒面白いと思った所、青⇒見せたい絵など)
- 選んだ絵本への思いを伝えながら読み合う。

★ 参加者から

- 「うまく読もう」「時間内に読もう」などと考えて、子どもとのやりとりを楽しむことを忘れてしまっていたような気がします。初心にもどってまたがんばろうと思いました。
- 実際に絵本を読んでいただき、聞き取りやすい声と間の取り方など大変勉強になりました。また、絵の見せ方を工夫するというペアワークで様々な気づきがありました。
- 読み聞かせに関する講座は初めてでしたが、全体的にあっという間に時間が過ぎ、とても参考になる内容でした。

「読み聞かせ」は、言葉、感情をこめた肉声、まなざしで大人から子へ愛情を伝える行為です!!



【 佐藤 真紀 氏 】



【ペアでの読み聞かせ】

